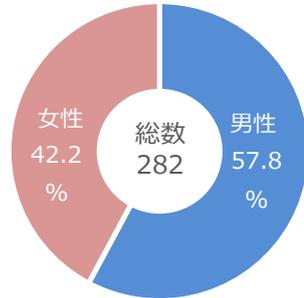


3. 部位別《大腸》

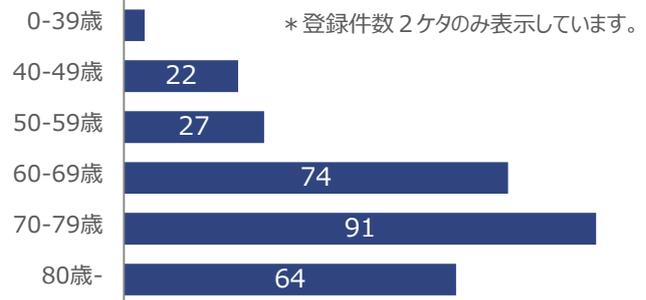
2020年症例

* 分類方法：癌腫のみ（国立がん研究センター 院内がん登録全国集計 病期分類対象コードに準じる）
* 症例区分：「自施設初回治療開始」

3-1. 男女比



3-2. 年齢別登録件数



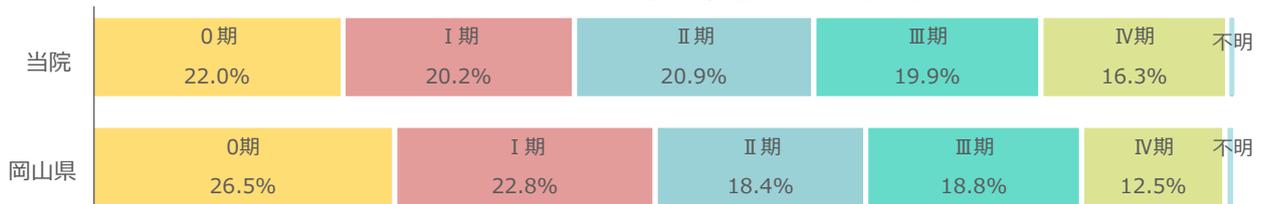
3-3. 岡山県施設別登録件数割合



* 症例区分：「その他」のみを除いています。

* 岡山県：がん診療連携拠点病院9施設で集計しています。（国立がん研究センター 院内がん登録全国集計結果閲覧システムより）

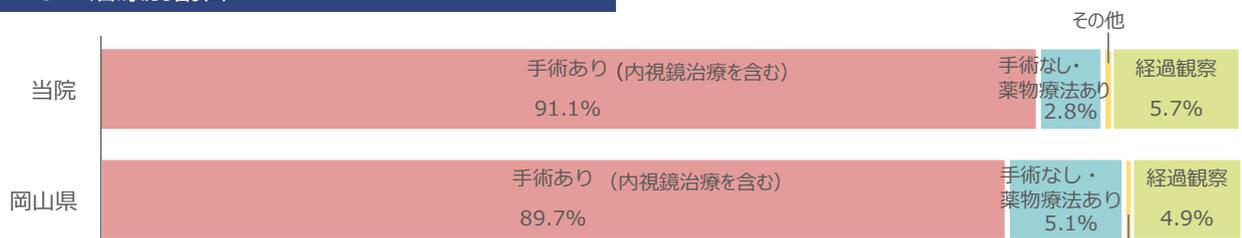
3-4. 総合ステージ割合(UICC第8版)



* 手術で切除したがんの組織診断から判定した術後病理学的ステージを最優先したステージ。手術がなされない等の理由で判定できない症例は、画像診断等によって判定したステージを用いました。

* 岡山県：がん診療連携拠点病院9施設で集計しています。（国立がん研究センター 院内がん登録全国集計結果閲覧システムより）

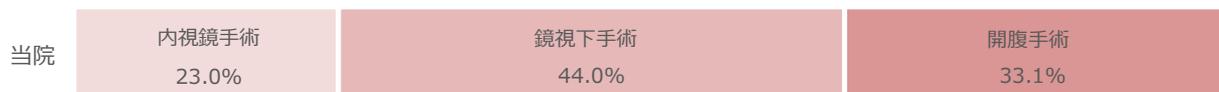
3-5. 治療別割合



* 岡山済生会外来センター病院で行った薬物療法は含みません。

* 岡山県：がん診療連携拠点病院9施設で集計しています。（国立がん研究センター 院内がん登録全国集計結果閲覧システムより）

3-6. 手術内訳



岡山県全体の登録数に占める本院の比率は約2割です。県全体と比較すると、II期以上の進行がんの割合が高くなっています。治療別割合では、70歳以上の比較的高齢の方が多いなか、9割以上の症例に手術を施行し、積極的な加療を行っています。浸潤度の浅い症例に対しては内視鏡的粘膜切除術(EMR)や内視鏡下粘膜下層剥離術(ESD)をに行い、0期・I期の症例の55.8%に内視鏡治療が行われています。